森内哲也後援会 検索

（三宅町伴堂137-9　TEL/FAX：0745-44-4194）

森内哲也後援会便り

第4号
2015年8月

議員として見た三宅町

ネットで情報発信しています

私を選んでいただいた方々は「今のままではいけない」「三宅町も変わらないといけない」という意見をお持ちの方々だと思っています。では、変える・変わるために、まず、今までの議会についてどこに問題があったのか調べてみました。

ホームページで情報を発信しています。「森内哲也後援会」で検索して下さい。ホームページからもお気軽にご意見お寄せ下さい。

議員、議会ってどやねん？

1.バラバラ議会？

執行機関（町長サイド）へのチェック機能はもちろんありますが、予算編成権がある町長側が圧倒的に優位で、議員個人でなんとかしたいと思っても動きません。議員個人の意見を議会という集団の意見とする必要があります。議会という集団では力を発揮できるが、バラバラでは、執行機関に対抗する力はないということになります。まず議員個人と、議会という議員集団を分けて考えるべきです。前回までの三宅町議会がバラバラであった点は、公式記録にもたくさん残っています。

問題点１「議会としての団結力が足りなかった」

2.町長派と反対派??

では、議員はみんな同じ考え方であるべきか。そんなことはありません。選挙で選ばれたとはいえ町長は個人であるがゆえ独善的になりがちなのに対して、議員たちも選挙で選ばれ、その背後には多種多様な価値観があってその様々な意見をいかに議会の総意の中に取り込むかが、議会の役目となります。少数だが聞くべき意見もしっかり反映させて議会の総意を作るという努力すべきです。そういった努力は公式文書には残らないかもしれませんが、住民にも見えませんでした。そのため、町長派・反対派という単純な二分化がなされていたように思います。

問題点2「議会として少数意見を含む総意形成が足りなかった」

問題点をふまえ、どんな三宅議会となってゆくのか、注視とご意見下さいませ。

編集後記

いろいろなご意見をいただいています。メールでも連絡も可能です
miyake@best-for-u.com
http://mt.best-for-u.com

新人紹介

森内哲也（もりうち てつや）

「小さいからこそ、出来る事がある！」と、意気込んでみたものの…
「小さいからこそ、」個人のワガママや思惑で動いていないかと心配しています。住民の皆様の考えや意見をどうやって反映させれば、よいのか考えています。遠慮なしでお声をかけ下さい。声をかけやすい雰囲気を出す努力をしておきます（笑）

文字が多くてゴメンなさい。これでもだいぶ割愛しました。

議会の様子や内容は、私の後援会サイトや、植村議員、池田議員、森田議員の議員便りなどを参照ください。

問題点分析など先輩議員に対して不遜かも、申し訳ないと思いつつも、絶対に変えてゆきたいと思っています。

森内哲也後援会 検索

第4号

これは知っておこう!

情報公開と住民参加に積極的に取り組みたい、ので

「情報公開」「住民参加」について公式発言抜粋

(平成20年9月5日議会にて)志野町長の所信表明より

『「住民にわかりやすい情報の公開」、情報はすべて住民のもの、町の行政の中身をもっとわかりやすくします』

(平成21年6月5日議会にて) 坂東議員と志野町長のやり取りより

志野町長　『情報は町民との共有財産であるとの基本姿勢に立ち(中略)町政に関心のある町民の知る権利を保障していきたい(中略)　また、町民の知る権利に対しまして、実施機関は説明責任を果たさなければならないという基本理念に立ち返りまして、今後もすべての部門で情報公開を総合的に推進することによって行政の透明性を高め、町民の皆様への町政への参加を促し、行政と町民の皆様との信頼関係の向上に努めてまいる所存でございます』

『個人情報を除きまして、私も何も隠さなければならないというようなことはないと考えております』

(平成27年3月3日議会にて)中村副町長の退任挨拶より

いわゆる『地方創生』!

『**まち・ひと・しごと創生法**が成立しまして、国が人口の長期ビジョンと総合戦略を策定し、これを勘案して新年度から三宅町が人口ビジョンと総合戦略を作成することになります。これからは**町職員が議会、住民を巻き込んで**知恵を絞り、人口動態を含む地域の分析を行い、取り組むべき施策とその具体的な実行策を企画立案する必要があります』

未来の三宅町の姿を決める?

(平成27年3月3日議会にて)植村議員と志野町長のやりとりより

植村議員　『住民参加の町づくりの第一歩として、行政が主催して住民に意見を求めるために、全住民に参加を呼びかけて討論会を開催し、その意見をくみ取って町の基本構想を見直し、更新していってはどうかと考えます。三宅町はそのような行動計画を持っていますか?』

町長指名により担当部署の東浦・未来創造部長

『周知のとおり住民参加の手法もさまざまであり、現時点ではそのような行動計画はございません。(中略)今後、基本構想の策定における住民参加につきましては、(中略)重要なことと認識いたしておりますので、三宅町に見合った進め方や手法の検討を行ってまいりたい』

(平成27年6月5日議会にて)森内と志野町長のやり取りより

森内　『町長のえがく三宅町の未来像へ、我々議員や住民さんの意見を直接反映させる機会を設けるというような考えはあるでしょうか?』

志野町長　『色々な面におていて私も情報を集めています。職員にも情報を集める努力をするように言っています。アンケート調査等、事業委託で様々な世代に向けての情報収集を、すでに行っています』

「小さい町だからこそ」、住民さんとの直接対話をやるべきだと思うのですが、今の所そんな動きはないようです _|￣|○ ガク

だからこそ!!

皆さんの地区で、参加の団体で、どんな活動してるか、どんな困りごとがあるのか、知りたいと思っています。
お話をいただければ、議員仲間にも声をかけて、うかがいます。
どうぞ、お気軽に!!

もりうち　てつや
森内哲也後援会
三宅町伴堂137-9
Tel/Fax：0745-44-4194
メール：miyake@best-for-u.com
サイト：http://mt.best-for-u.com

ご意見やらクレームやら
結構届いてます!
なにはともあれ大歓迎!!

平成27年6月の発言は、原稿作成時、議事録になってません。公式記録とは微妙に語句が違うかも?